

2025 CSR報告書 カンボプラス

CSR: Corporate Social Responsibility

新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	8
その他のかかわり	12

カンボウプラスの概要

代 表 者	代表取締役社長 中村信治
設 立	1939年3月24日
資 本 金	1億円
決 算 月	3月
従 業 員	147人
主 要 事 業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事 業 所	本社、東京支店、福井工場
外 部 認 証	福井工場 ISO9001、ISO14001

一層の品質向上、サービスの充実を

平素よりカンボウプラスをお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。おかげさまで昨年に創立85周年を迎えました。大阪本社と東京支店で85周年記念セミナーを開催させていただきました。説明会では機能性ターポリンの新商品紹介や、放射冷却素材「SPACECOOL」を用いたブランド製品「REI KEEP」のリリース等を説明させていただきました。また、大阪・関西万博が開催されましたが、会場の様々な場所で弊社商品が使用されているのを目にし、シートメーカーとして社会貢献できていると再認識いたしました。これもひとえにご支援いただきました皆様のおかげだと思っております。誠にありがとうございます。

弊社を取り巻く環境としては、防災剤である三酸化アンチモンの急高騰や原料メーカーの廃業や統合による材料確保不安、また人材不足によって製造枠を維持することが非常に厳しいです。また、米中貿易摩擦は私たちの生活や企業活動に深刻な影響をもたらすことが予想されます。そのような環境下ですが企業努力を怠ることなく、製品の安定供給、品質のさらなる向上、技術サービスの充実に努めてまいります。環境への取り組みを意識し、さらにモノづくりを進め、新しい価値の創造を通じて豊かな社会づくりに貢献します。そして変化する社会に対応できる強い会社を築き上げてまいります。

このたび2024年度の活動をまとめた「2025CSR報告書」を発行いたしました。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 **中村信治**



85周年記念セミナー

カンボウプラス株式会社は、2024年に創立85周年を迎え、新技術・新製品をお客様に発信するセミナーを開催しました。

来場されたお客様は、大阪・東京合わせて約120人。セミナーでは、各製品の営業担当者がプレゼンをしました。その中でもSPACECOOL株式会社が開発したフィルムを使用した「REI KEEP」シートは、シート下での体感が約-10℃になるというシートで、猛暑対策として注目が集まりました。用途として、業務用ではトラックシート、テント、暑くなりやすい工場内の天井への敷設、日用品では日傘や帽子や窓の日よけなど様々な展開が期待されます。

当社はこれからも「新加（シンカ）する企業」をスローガンに、人々の豊かな生活を支える企業を目指していきます。

*REI KEEP…SPACECOOL株式会社が開発した放射冷却フィルムを複合した膜材料



セミナーの状況



展示ブースでの様子



REI KEEPの展示



災害関連商品の展示



粘着商品の展示



DIG REAL商品の展示

当社商品のご紹介

当社では、環境に優しい商品、災害時に役に立つ商品の開発、販売に力を入れています。
2024年も大阪・関西万博をはじめ様々な場面で当社の商品が採用され、新商品も誕生しました。

■大阪・関西万博で『SPACECOOL』を使用したB種膜構造物

大阪で55年ぶりの開催となる大阪・関西万博のパビリオンのひとつで『SPACECOOL』を複合したB種膜材料が採用されました。

同素材は、SPACECOOL株式会社が開発した特殊な光学フィルムを表面に複合しており、通常の反射機能に加え宇宙空間へ放熱する“放射冷却”機能で、通常の遮熱材よりもさらに約 -10°C の温度低下が期待される素材です。

日本ガス協会が出展する「ガスパビリオン おばけワンダーランド」の外幕に採用され、真夏の熱中症対策素材として大きく期待されています。



ガスパビリオン おばけワンダーランド 全景



ガスパビリオン おばけワンダーランド 内部



ガスパビリオン おばけワンダーランド 夜景



■ フジツボ対策ターポリン「カンボウマリンスター」

2024年秋にリリースした「カンボウマリンスター」は、海洋汚染や海洋産業での被害、美観の阻害のもととなるフジツボの付着を抑制するターポリンです。フジツボは海洋に停泊する船や生け簀（いけす）・漁網などに定着し、燃料効率の低下や漁網の損壊などの大きな被害をもたらします。また、美観を損なうだけでなく異臭を発生させ周辺の環境を汚染する元凶となっています。

「カンボウマリンスター」は、厚手PVCターポリンの樹脂の中にフジツボが忌避する薬剤を混練しています。忌避剤の効果で長期間にわたり、フジツボの定着を抑制させることに成功しました。使用している薬剤は、漁船の船底塗料として実績のあるもので、海洋への影響も問題ないものを選定しています。

2026年度の本格採用を目指して、今年度はいくつかの案件で実証実験を始めています。

美観維持のコスト削減 **フジツボ対策ターポリン**

カンボウ マリンスター

受注生産品

フジツボが付着したターポリンの洗浄作業の削減や作業環境の改善に貢献します。

通常のターポリン

フジツボが大量に付着

試験検証
2ヶ月後

カンボウ マリンスター

フジツボの付着無し

■ フジツボが付着するメカニズム

	表面に汚れや植物性プランクトンが付着	植物性プランクトンを捕食する動物性プランクトンが集まる	動物性プランクトンを捕食するフジツボが定着
通常ターポリン			
フジツボ対策ターポリン			

忌避効果発揮

KANBO PRAS

■アップサイクル商品の企画・PR

SDGsの取り組みとして、製造時に発生する端材や廃液、廃棄物などを利用したアップサイクル商品ブランド「DIGREAL UPCYCLED COLLECTION」を立ち上げ、地球環境に優しい商品の企画・販売を行っています。2024年は新たにカードケース・コインケース組み立てキットをラインナップに加えました。

また、環境イベント「ECO縁日」に出展し、企画した商品の即売会、ワークショップを開催しました。お客様が実際に商品を手に取り、活動について興味を持っていただく機会となりました。

地域イベント「大津ジャズフェスティバル」への出展は3回目となりますが、即売会に加えステージ上のバナーと入り口のポールサインを提供させていただきました。今後もイベントへの出展を通して、地域社会貢献およびPRを行っていきます。



大津ジャズフェスティバル 商品即売会の様子



大津ジャズフェスティバル ワークショップ開催時の様子



大津ジャズフェスティバル ステージ上のバナー



大津ジャズフェスティバル 入り口のポールサイン



Eco縁日ブース



Eco縁日ブース 商品即売会の様子

品質について

品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定 2013年12月1日

品質体制

福井工場では、当社製品を安心してご使用いただける様、安全性・製品品質向上・生産向上のために、係長・班長を中心にグループとなり、積極的に活動に取り組んでいます。

安全性の向上



ゼロ災

- 安全パトロール
- リスクアセスメント
- KY活動

製品品質の向上



小集団活動

- 加工条件の改訂
- 作業手順書の見直し
- 工程検査の徹底

生産性の向上

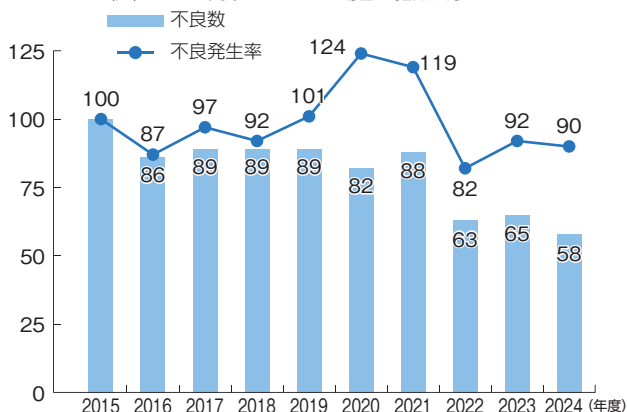


5Sの推進

- 作業環境の改善
- 定期的な設備点検・清掃
- 3S活動報告会

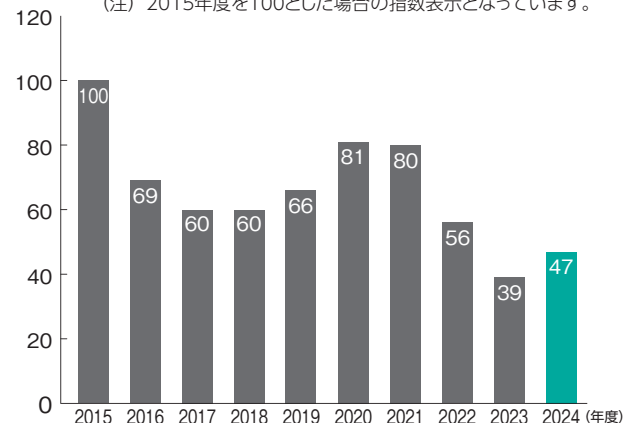
不良品発生件数推移

(注) 2015年度を100とした場合の指数表示となっています。



苦情発生件数推移

(注) 2015年度を100とした場合の指数表示となっています。



加工要因では、工程内管理を確実に実施し、「作業手順書の見直し」「加工条件の改訂」「工程内検査の徹底」などの活動で、不良品発生低減に取り組んでおります。設備要因では、不良発生を抑えるため、設備点検・清掃を定期的の実施し不良発生に歯止めを掛けています。

また、作業環境の改善を実施しており、衛生面からも不良低減に努めています。

これら様々な活動で、当社製品を安心してご使用いただける様、取り組んでまいります。



環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減をめざし、以下の方針に則って行動します。

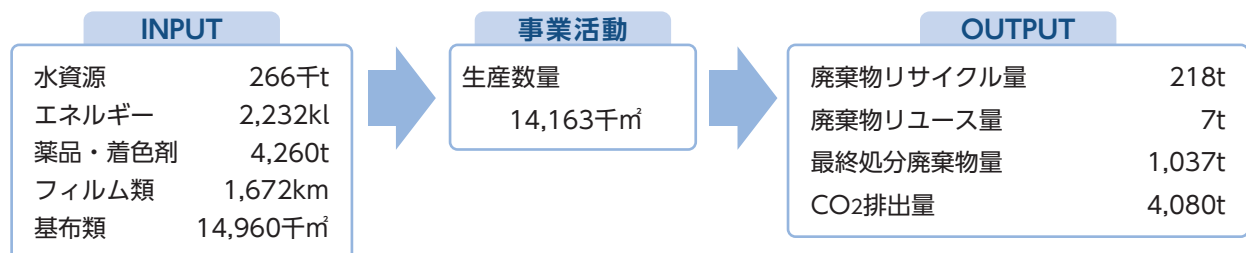
- 1 当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
- 2 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた環境保全と改善活動を継続的に推進します。
- 3 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- 4 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- 5 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
- 6 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
- 7 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、インターネットを含め全ての人に公表します。

改定 2020年4月1日

事業活動における環境負荷(福井工場)

当社では、事業活動におけるエネルギー・資源の使用量 (INPUT) と環境への排出量・廃棄物量 (OUTPUT) を正確に把握することにより、総合的に環境負荷の低減に努めています。



環境負荷低減製品開発への取り組み

近年、お客様からの環境配慮の要望は新製品開発のみならず、これまでに提供した製品の仕様変更といった形で増えています。環境推進地域である欧州において様々な化学物質の規制が進められている中、材料選定の見直しや、バイオマス素材の使用など、グリーンな製品設計を進めています。

今後もカンボウプラスでは、様々な要望に合わせて使用する材料の変更を進めるとともに、安全安心の観点からグリーン材料での製品開発に取り組んでいきます。



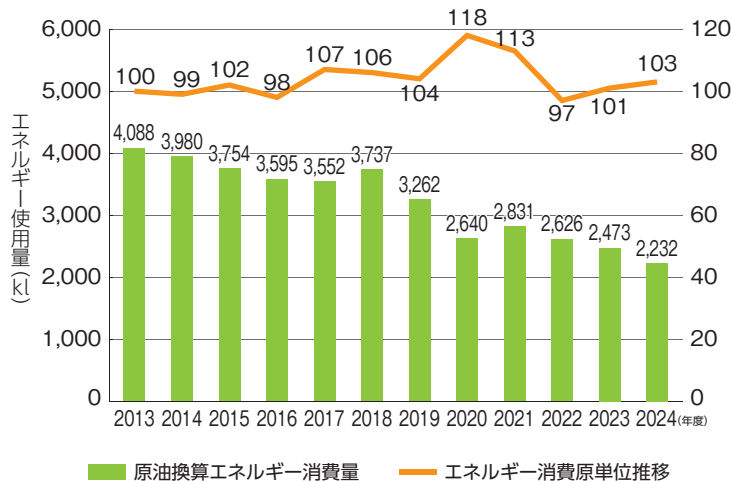
エネルギー消費量とCO₂排出量

昨年度は生産設備、製品倉庫のLED化を実施しました。福井工場の照明のLED化は92%となりました。また送風ファンの稼働時間の見直し、モーターのインバータ化を図り使用電力の削減を行いました。蒸気設備関係では蒸気使用量が増加する冬季前にスチームトラップの点検、交換を実施しました。生産数量は計画以上の結果となりました。そのため2023年度に比べ生産量（㎡数）は約4.1%増となりました。

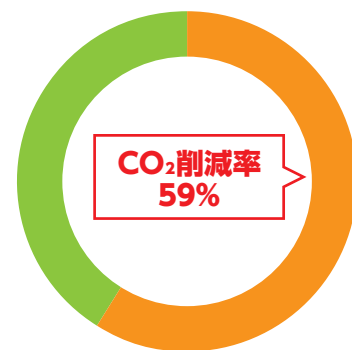
エネルギー消費原単位では、前年より約2.4%増加、CO₂排出量につきましては、約7.6%の削減となりました。

引き続き照明のLED化、保温材の補修、スチームトラップの状態監視を継続実施致します。また、省エネ設備への更新、燃料の転換についての調査・研究についても引き続き進めます。

エネルギー使用量及び原単位



CO₂排出量削減率



2013年度比

(注) 2013年度を100とした場合の指数表示となっています。

地球温暖化防止への取り組み

地球環境を考える上で、企業のCO₂排出量削減への取り組みは非常に重要な役割を担っています。

CO₂排出量削減の取組として、照明のLED化（水銀灯含む）・省エネ設備導入・CO₂フリー電力の活用・環境負荷低減商品の開発・廃棄物削減の取り組み・クールビズ・ノーマイカーデーなどの取組を従業員一丸となって推進しています。

2023年8月よりCO₂フリー電力を導入しております。

CO₂フリー電力を使用することにより、CO₂を排出する電力を使用する場合と比較すると2023年度で約1,223t、2024年度で約1,847tのCO₂排出量を抑制することが出来ております。



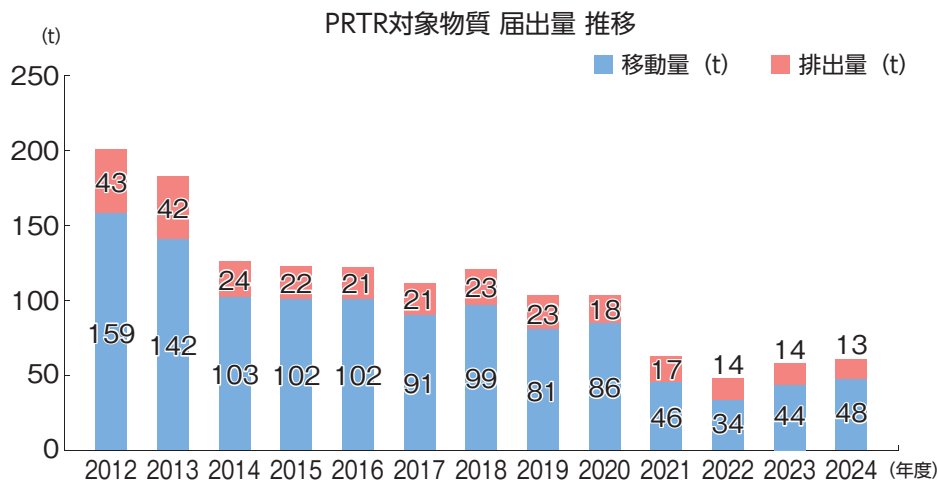


PRTR法への対応

PRTR制度では第一種指定化学物質の環境へ排出される量（排出量）及び対象物質を含む廃棄物が事業所外へ移動される量（移動量）について届け出ることになっています。

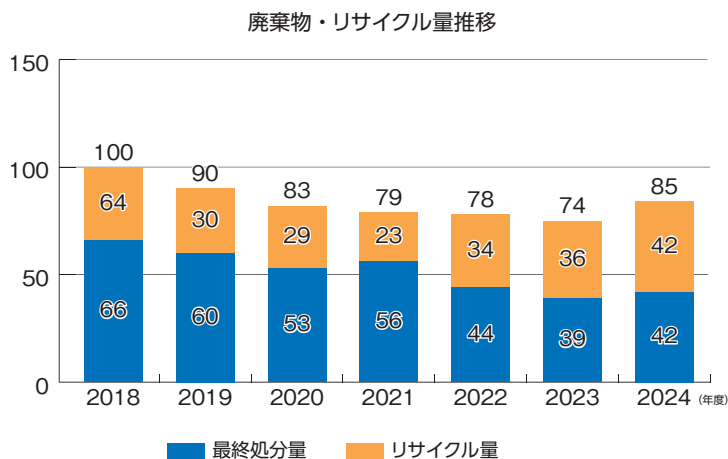
2024年度のPRTR対象物質の排出量及び移動量の届出合計量は2023年度より増えましたが、これは生産増による影響です。

2020年から移動量が減っていますが、これは対象物質のひとつである可塑剤フタル酸ビス（2－エチルヘキシル）の置き換えが進んだためです。なお、本年からはアンチモンおよびその化合物の置き換えも進め、更なる低減を目指します。

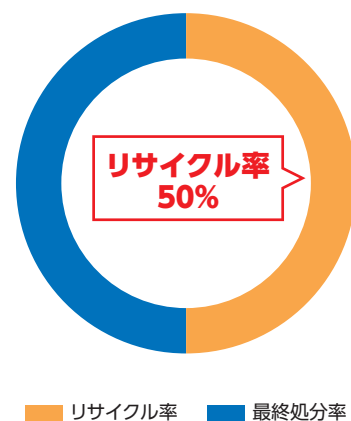


廃棄物削減への取り組み

昨年度より生産量が増加したため、廃棄物の総量も増加しましたが、リサイクル・リユースへの取り組みの結果、リサイクル率は向上しました。今後も、再生が困難な廃棄物の削減と再生の取り組みを推進していきます。



2024年度リサイクル率



(注) 2018年度を100とした場合の指数表示となっています。



グリーン推進活動

2024年度も「第15回ニチバン巻心ECOプロジェクト」および「エコキャップ回収運動」に参加しました。巻芯は、ニチバン株式会社を通じて段ボールに再生することで得られる利益が森の植林活動に役立てられ、ペットボトルキャップは、特定非営利活動法人エコ・ワクチン協力会を通じて、プラスチックとして再利用することによって得た利益がワクチン購入代金に使用されます。今後も継続して活動を行っていきます。



当社では事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。大阪本社では、2025年2月に「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。



本社ビル前清掃



東京支店ビル前清掃



福井工場内清掃

文化ファッション大学院大学との取り組み

2024年度「BFGU×カンボウプラス株式会社 産学連携アップサイクルプロジェクト」

2021年にスタートした社内の商品企画プロジェクトの一環として、日本で唯一のファッション専門職大学院である文化ファッション大学院大学と産学連携プロジェクトを実施しています。この取り組みでは、30人以上の大学院生からアイデアを募り、アップサイクルをテーマにした商品企画に共に取り組んできました。

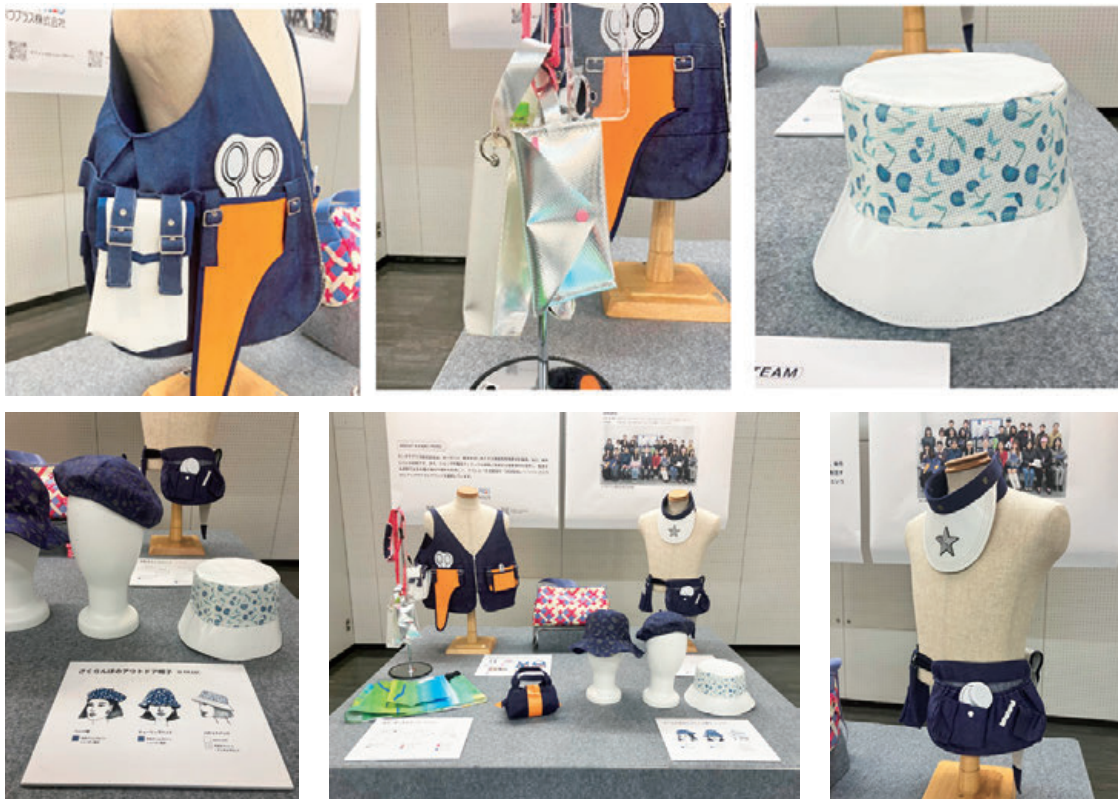
ファッションテクノロジーコース1年次の学生の皆さんと進めたアップサイクルプロジェクトでは、当社の製造・加工工程で生まれた端材や廃材を活用しています。マーケットリサーチやコンセプトづくりから、バッグや帽子などのファッショングッズなどの製品企画・制作に挑戦。12月には成果発表会を開催し、特に発想のユニークさや製品としての魅力が光ったグループに「カンボウ賞」と「社長賞」を贈呈しました。

また、今回の提案の中には、放射冷却素材である*REI KEEPを活用した商品もあり、素材の新たな可能性を感じることができました。

学生の皆さんが素材の価値を捉え、グループで協力しながらものづくりに取り組んだ経験は、私たちにとても大切な学びとなりました。今後は作品の製品化を視野に入れながら、環境に優しいものづくりや次世代との連携を続けていきます。



REI KEEPを使用した企画商品





従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。

2024年度もWEBシステムを活用した社内研修やオンライン英会話を継続して実施しています。今後も従業員教育の充実を図り、社会から愛され信頼される企業であり続けるため、従業員の能力向上に努めていきます。



2024年6月 安全講話



2025年2月 営業職研修



2025年3月 事務職研修

公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため、公的資格支援規定を策定し、様々な資格に対して合格祝い金を支給する等、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。

2024年度は本社、東京支店、福井工場の従業員が24件の資格を取得しました。

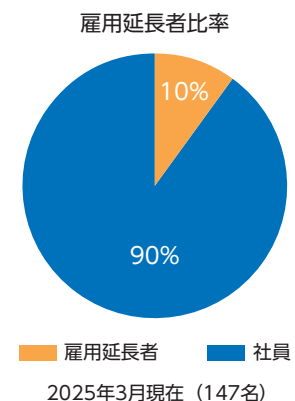
■主な公的資格取得者数

資格名称	取得者数(名)
QC検定2級	1
QC検定3級	1
JIS品質管理責任者	1
乾燥設備作業主任者技能講習	3
有機溶剤作業主任者技能講習	3

雇用

2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には、年金不支給期間の対応として、65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させる為シニア制度規定を制定しました。

2024年度は定年退職者数4名の内、4名全員が雇用延長しました。



緊急事態への備え

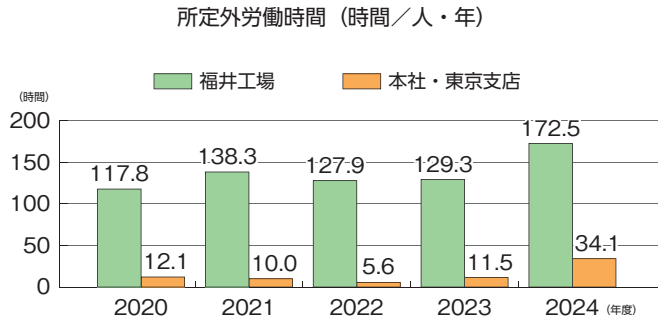
2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム (BCMS)」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、警備会社の「安否確認サービス」を導入しました。より迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練等を実施しております。



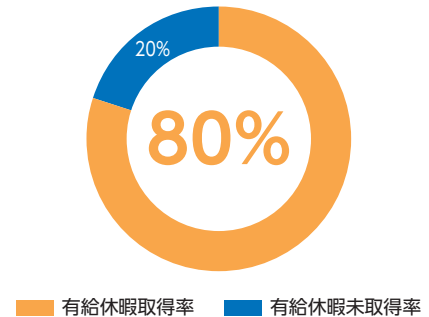
ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、ノー残業デー、最終退出時間の設定と誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得を促進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。

2024年度は、6名（男性3名／女性3名）が育児休暇を取得しました。



2024年度 従業員年次有給休暇取得率



労働安全衛生

カンボウプラスでは、安全衛生パトロールや労使合同で開催する安全衛生委員会を通じて、全従業員が安全で働きやすく、健康に配慮した職場の確保に努めています。

労働災害発生件数

2024年度も前年度に続き、休業労災ゼロを達成しました。福井工場では労災ゼロを目指し、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導など安全対策を一層推し進めてまいります。

休業労働災害発生件数



内部通報制度

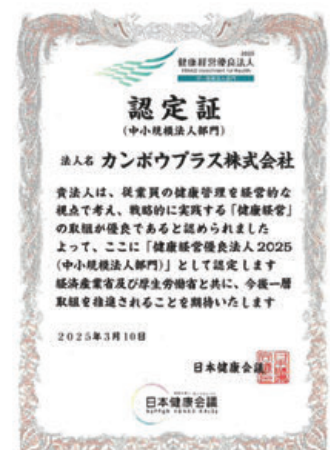
当社は違法行為防止、早期発見及び是正を図るため「カンボウ・ヘルプライン」と呼ばれる内部通報制度を設けています。

全従業員を対象に2024年10月にコンプライアンス研修、2024年11月にハラスメント研修を実施しました。今後も内部情報提供者の保護とともにコンプライアンスの強化を図り、ハラスメント教育にも努めていきます。

「健康経営優良法人2025」（中小規模法人部門）認定取得

2025年3月、カンボウプラスは経済産業省が公表する健康経営優良法人認定制度におきまして中小規模法人部門で「健康経営優良法人2025」の認定を取得しました。

健康経営優良法人は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。引続き取得できるよう取り組んでまいります。



カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪府中央区南本町1-8-14 JRE堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <https://kanbo.co.jp/>